

令和元年度第2回自立支援協議会地域生活支援部会 作業部会 議事要旨

1. 開催日時 令和元年8月22日(木) 午後2時30分～3時30分

2. 開催場所 市役所4階 S2・3会議室

3. 出席者(委員) *団体名のみ記載

(福)なゆた、(福)敬心福祉会、千葉商科大学、いちょうの会、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安市自閉症協会、浦安市身体障害者福祉会、浦安手をつなぐ親の会、千葉発達障害児・者親の会「コスモ」浦安グループ、浦安市肢体不自由児親の会「どっこらしょ」、(福)パーソナル・アシスタンスとも、(特非)あいらんど、(特非)千楽、(福)サンワーク、(株)A.ver、ケーズケア(同)、(株)徳久、(福)佑啓会、(福)市川レンコンの会、障害者就業・生活支援センターいちされん、順天堂大学医学部附属浦安病院

(事務局)障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

作業部会「就労支援について」を開催。

「事業所間の連携のあり方について」

「卒業後に就労を希望している高校生に対してどのような支援ができるか」

5. 議事概要

3班に分かれ、委員それぞれの立場から「事業所間の連携のあり方について」「卒業後に就労を希望している高校生に対してどのような支援ができるか」について意見を出し、全体で共有した。

■主な意見

- ・浦安市で開催されている就労ネットワーク会議を有効活用してはどうか。
- ・福祉サービスのガイドマップがあればよい。
- ・卒業後に就労を希望する高校生に対する支援としては、就業・生活支援センターや浦安市就労支援センターを有効活用していただきたい。原則的に高校生の間は利用できないが、卒業が確定した時点から利用ができるようになる。4月からそのまま急に働くのは難しい。
- ・これから卒業する人で行き場が困っている人に向けて情報を出してくれるのは本来なら相談支援事業所ではないか。まだ情報が十分に相談支援事業所に理解されていないのではないか。相談支援専門員の質、レベルが高まっていくことによって解決につながっていくのではないか。
- ・事業所間連携のあり方について、現在していることではあるが、担当者会議の回数が少ないのではないかと。事業所間での情報共有、就労以外の日中活動の場での

事業所と就労の事業所も連携がもっとできればいいという話が出た。

- 市川市では就労支援部会の下部組織として、福祉的就労担当者会議、略して福担会議というのと、就労支援担当者会議、略して就担会議という2つがある。福担会議のほうは福祉的就労なのでB型事業所が集まってやる会議と、就担会議というのは就労移行支援事業所とA型事業所が集まってやる会議というのを毎月1回やっている。ガイドマップもここで作成して市役所や相談機関に置いている。
- 浦安市の事業所で1回集まって、どんな人たちがいて、どんな活動をやっているかまとめ、本当に顔の見える関係をつくっていかないと始まらない。

リ：浦安独自で新しくつくるのは難しいところもあるので、市川市でやっているいいところを取り込んでいって、事業所間の連携というのも進めていければ、それぞれ保護者の人や利用者に対しても、もっといろんな情報を提供できるのではないかな。